

湧水

仙北市立神代中学校

学校報

NO. 2

平成30年4月17日発行



◆徐々にペースがつかめてきたぞ

【新年度奮闘記】



①

慌ただしい日々は続いていますが、徐々に新年度の緊張もほぐれ、体調を含めペースをつかみつつあるように感じます。立場や空間が変わることは、皆さんに限らず大人でも慣れることに苦労します。そんな今の時期にこそ、しっかり身に付けて欲しいのが「神中のあたり前力」なのです。そのためのトレーニングとも言える各行事・集会等の一部を紹介します。



②



①（整列・生活指導）集会・・・集会に臨む姿勢や入退場の練習をしました。立派！！

②命を運ぶ大切な乗り物が「自転車」です。日頃の点検も怠るな！！

③「校歌」を強く美しく歌い、心を一つにできたらいいなあ。（1年生）

④ S C 濱田による「心の健康講話」、不安や悩みと上手につき合おう。（1年生）



励まし合ったり支え合ったり、今の神中にはそんなやさしさがあります。その雰囲気の中で、さらに自分を鍛える気持ちを併せ持って欲しいものです。明日のPTAでもそんな雰囲気を感じて頂けることでしょう。

④



◆◆◆ご来校をお待ちしています◆◆◆

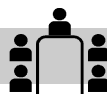


③



○2・3年生が激変！！
「先輩の顔」になってきたぞ

◆生徒会・部活動が動き出します



生徒会入会式・部活動発会式が行われました。中学校生活では、学習同様に大きなウエイトを占める二つの活動です。そして、この二つの活性化が学校の充実につながるものと考えます。

1年生もいよいよその活動の仲間入りです。各教科の学習とのバランスを大切に、たくさんの「活躍の場」をもてるように積極的に活動に参加しよう！！

○「四つの柱」と「6つの専門委員会」理解できたかな？

「部活動加入」も決定、張り切って行こう！！よろしく先輩



◆いと 労を厭わず・・・『神中生の美德』！！



※神中生は ホントニエグカセゲダウラシガダです。

私は常々「勤勉」であることが貴重だと考えています。そして我が神中生にはその最大の美德とも言える「働くことをいやがらずにやる気質」が備わっているなあと思うのです。この地区に長く関わり、地域の方々気質も承知しているつもりですが、その素晴らしい気質(DNA)を間違いなく引き継いでいるようです。

清掃や係活動などの日常活動はモチロンのこと、行事の準備などでも我先に作業にあたり、「他にありませんか？」とさらに仕事を買って出る自慢の生徒たちです。そして「あたり前力」や「神中の底力」のベースにはきっと「勤勉さ」があるのでしょう。

He who does not work, neither shall he eat. 「働かざる者食うべからず」

労働に関する慣用句で、「働こうとしない怠惰な人間は食べることを許されない。食べるためにはまじめに働かなければならない」という意味なのですが、神中生なら将来にわたって大丈夫だと思える生活ぶりです。

祈 健闘 郡春季体育大会 4月21日(土)～22日(日) 野球+28日(土)・柔道5月3日